

私はスタッフとして、座談会（A班）の流れを見ながらの感想文とします。
テーマは“日本一の子育て環境のあるまち”で話し合われた中で、特に注目すべきと感じられた点について2～3記します。

*グローバル社会における、人を金額（収入）で評価する風土が各国において根付いてきている今

- ① 行政施策（国・地方自治体）を打ち出すことにより、多くの人とその恩恵を受けることになるが、しかしその裏側では貧困という格差の増大に苦しむ層も増えたことに対する手当も併せ打ち出す必要がある。
- ✓ 対2025 ② 国の打ち出す“国・公立病院の統廃合”は、少子高齢化対策に逆行するものではないか。過疎地は少子化でより進むし、高齢者は遠くの病院へ行くのを躊躇し、病に苦しむことになる。
- ③ 子育て教育（将来の人材育成）には、膨大な予算が投入されています。少子化時代を迎えても予算は膨らむ一方です。超高齢化社会（2025年問題：費用）に於ける中でも、子育て教育はその質を落とすわけには行きません。
今から時代に即した財政基盤づくりに取り組む必要があるのではないか。

以上この3点は大きな課題ですが“今なら出来る”をみんな（市民・行政・議会）で考え連携・協働し取り組んで行きたいと思いました。

石川

